

令和4年度第2回嘉麻市健康づくり推進協議会 会議録

1. 審議会等の名称 第2回嘉麻市健康づくり推進協議会
2. 開催日時 令和4年10月27日(木) 14時00分～15時00分
3. 開催場所 嘉麻市保健センター 3階会議室
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員 岩見 元照、後藤 英伸、坂本 留里子、福澤 準子、合代 さゆり、渡邊 美千代、赤間 秀人、末吉 進一、大内田 由香、松田 クニ子
(欠席：野上 佳代、犬丸 隆行、)
 - (2) 執行機関
健康課 課長 堀田 晶、健康推進係長 新原 直子、保健師 井口 智美
保健師 川野里枝
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人

8. 議題及び審議の内容

【議 事】

- (1) 第2次嘉麻市保健計画中間評価について
- (2) その他 今後のスケジュールについて

【審議の内容】

(1) 第2次嘉麻市保健計画中間評価について

(事務局) 資料 第2次嘉麻市保健計画中間評価のためのアンケート調査(結果報告書)に基づき、アンケート調査の概要について説明。

※調査対象者数 2,845名 有効回収数1,374名 回収率48.3%

(事務局) 資料 第2次嘉麻市保健計画(目標指標評価)案 及び 目標評価一覧に基づき、目標指標 1.健康寿命の延伸 2.主要な生活習慣病の早期発見、発症予防と重症化予防の推進について、計画策定時の値と直近の現状値の比較について説明。提出期限締め切り後に8名のアンケート調査表の提出があったため、一般市民対象者724名 対象者合計1,382名についての集計・分析を行っており、結果報告書と差異が生じていることについて、了承いただきたい。

(委員) 循環器疾患新規発症患者数は減少してきているが、脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率は上昇している。重症者が増えたと考えてよいのか。

(事務局) 詳細な分析はまだできていないが、そのように考えられる。

- (委員) メタボ該当者についての最終年度指標が増加になっているが、メタボ該当者は減った方がいいのではないか。
- (事務局) メタボ該当者の「減少率」の増加である。
- (委員) 了解した。
- (事務局) 国保に関しては、健診と保健指導をしっかりと推進してきた。国保以外の保険の中での影響についていかなものだろうか。
- (委員) よくはわからないが、介入をされた方とされてない方では、変わってくると思う。糖尿病もコーディネーターが介入することで重症化が防げるということがあるので、循環器疾患についても、保健指導が入ると入らないのでは全然違うと思う。
- (委員) コロナ禍にあって健診受診率が厳しい状況があったと思うが、メタボ該当者が増えていることについて運動不足等あると思うが、その要因についてどのように考えているか。
- (事務局) 稲築保健センターの健康増進室の利用者が、コロナが始まる以前は一日40～50人だったが、現在は20人程度と減少したまま回復しない状況もあり、そのような影響もあると思われる。
- (事務局) 目標指標 3. ライフステージに応じた健康づくりの推進 4. 個人の健康づくりを支えるための環境づくりの推進について、計画策定時の値と直近の現状値の比較について説明。
- (委員) 低出生体重児は、2,500gということによいか。
- (事務局) 2,500g未満である。
- (委員) ロコモティブシンドロームとフレイルとはどういうことなのか。
- (事務局) フレイルとはこころとからだの動きが弱くなってきた虚弱な状態で、ロコモティブシンドロームの前段階の状態である。
- (委員) ロコモティブシンドロームは整形外科的なことで、フレイルは認知機能も含んだところになる。
- (委員) コロナになって若い女性の自死と拒食症が増えたということが報道されている。データが少ないので何とも言えないが、若い女性の心理的問題が嘉麻市でもあることがわかった。調べて頂きたいと思う。
- (事務局) 目標指標 5. 生活習慣の改善 6. すべての子どもが健やかに育つための支援について、計画策定時の値と直近の現状値の比較について説明。
- (委員) 歯磨きの時間や本数についてのサンプルは自己申告なのか。
- (事務局) アンケート調査による自己申告の結果である。
- (委員) 実際に歯磨きの1分間を計っている人はたぶんいないだろうと思う。1分・3分・5分と並べられたときに1分が短く感じるが、実際に磨くと相当長い。ましてや3分となるとかなり長い間磨いていることになる。実際はたぶん違うだろうと思う、例えば30秒という方、それ以下の方もいると思うので質問は今後変えた方がよいと思う。歯の本数について、20歳代の方で24本未満の方が20%近くいるのは実際にはそんなことはありえないことで、20歳代であれば、恐らく欠損が1～2本の方が10%いるかいないか位で恐らく正確な本数を知らないのだろうと思う。小学校、中学校の過程で自分の歯が何本ある

のか教育を受けた人はわかるけど、あてずっぽうで回答している可能性が高い。ただ、質問としては、連動して同じでないと比較ができないのでしかたないが、そういうふう考えた方がいいのかなと思う。

(事務局) ご意見ありがとうございます。今後年内に保健統計等の令和2年の直近の数値が出た場合は判定も変更する可能性があります。

(2) その他

- ・今後のスケジュールについて

今後後期計画の素案策定を進め、12月中に素案をまとめ、令和5年1月中旬予定の第3回本協議会にて報告させて頂くこと、その後パブリックコメント手続きを経て、令和5年3月の策定に向かいたいことの説明。

- ・次回開催について (令和5年1月中旬予定)

9. 配布資料

○会議次第

○資料1 第2次嘉麻市保健計画中間評価のためのアンケート調査【結果報告書】

○資料2 第2次嘉麻市保健計画(目標指標評価)案

○資料3 目標評価一覧